



「レール」

三時間に一度しか、電車は走らない。
どこまでも延びるレールは、
果てしなく続く一本の長い空き地。

人たちは、そこで灼熱の市場を催した。
狩れたての動物の肉やら、

遠く西洋からやってきた燭台やら、
場合によっては槍や銃器まで。

錆び付いたレールの上で、
それでも賑やかな言葉だけが、
日に焼けていた。